名古屋西南ロータリークラブ
Weekly Report

安江英雄会長年度テーマ
継続は力、 協力は強力
例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000
例会日時 木曜日 12:30
クラブ会報広報委員長 二俣景一

2006-07 年度 R.I.会長
ウィリアム B. ボイド

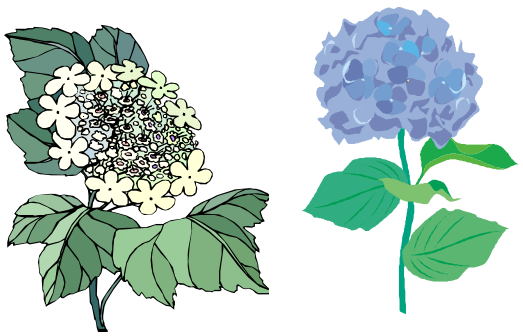
承 認 1995.3.28
会 長 安江英雄
幹 事 後藤 敞

事務局 名古屋市中区栄 3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007 号
TEL 052-263-1324
FAX 052-263-0730
Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp
HP http://rc.nagoya-seinan.org/

第581回例会 No. 41 平成19年5月31日(木) 晴	
■ ロータリーソング	「それでこそロータリー」
■ 出席報告	会員49名中35名出席
■ 出席率	79. 55% 出席計算人数44名
■ 修正出席率	5月10日 95. 45%
	5月17日 95. 65%

会長挨拶 安江英雄

先週は家族旅行会には、多数の方が参加下さり本当にありがとうございました。楽しい旅でございました。
その時の話の中で、甘茶の話が少しありましたが、甘茶は紫陽花の変種だそうです。4 月 8 日の潅仏会に用いる甘茶は、その甘茶の葉を乾燥発酵させて煮出したものです。本日は「ひろ さちや」さんの、エッセイの中から紫陽花の話を引用させてもらいます。
「あじさい」に紫陽花の漢名を宛てたのは失敗でした。中国で紫陽花と呼ばれる花がどういうものか不明です。でも、唐の詩人の白楽天が「陽を好み 気香ばしい」と詠んでいるところから、たぶんライラックだろうと考えられています。あじさいの原産地は日本です。強い太陽光線を好まず、むしろ雨の似合う花です。また、香りもあまりありません。それから「紫」に関しても紫陽花は酸性土壌では紫色になりますが、アルカリ性や中性土壌では、赤色が強くなります。だから、鉢植えを庭に植え替えると、翌年には色が変わることもあるので、要注意です。
紫陽花の花は装飾花と呼ばれるもので、雄しべと雌しべが退化して、花冠と萼(ガク)だけが発達したものです。だから、種子がほとんど出来ないので人為的に挿し木で増やします。6 月に入りますと各地できれいな紫陽花の花がみられるようになります。



ニコBOX

●本日の卓話は松尾雄二郎さんにお願い致しました。松尾さん、宜しくお願い申し上げます。 安江会長、二俣、長谷川千廣、松尾、水野、植木、日下、森田、吉田、西川、和田、河原、川崎、長谷川龍伸 (敬称略)
後藤幹事 松尾さん、有難うございます。
鈴原さん 休みが続き申し訳ありません。
浮貝さん 長く休みました。申し訳ありません。
川原さん 会員増強に意を用いましょう。
藤野親睦活動委員長 春の家族会に多数の参加有難うございます。家族の方、友達の方にも宜しくお伝え下さい。
森さん 奈良の旅、心があらわれました。皆様お世話になりました。
加藤さん 先日の家族旅行会、欠席ですみませんでした。また、体調も良くなれば出席させていただきます。
●「春の家族会」は楽しかったですね。奈良ホテルのおいしい料理に感動しました。 中川さん、近藤さん
本日合計 54, 000円

委員会報告

ロータリー財団委員会 委員長 河原照忠
「PHF」に」ご寄付いただきました 安江英雄会長に、表彰状と楯を伝授いたしました。

☆☆例会のご案内☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
●6月14日(木) 第583回例会 100万ドル例会
外部卓話 NPO 法人
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

委員会報告

出席委員会　　委員長　日下宏次

「10ヵ年皆出席」を迎えられた　鈴原　孝さんに、ダイヤ入り会員章を会長より贈呈いたしました。

会員卓話

「孫子について」

松尾雄二郎

●原稿は省略させて頂きます。

ロータリーの友　WEB　Site より抜粋

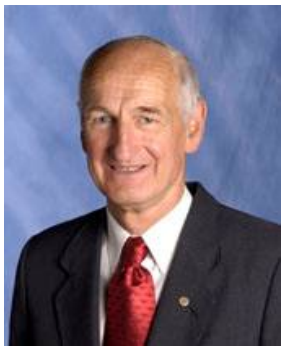
「ロータリアンとは」

WILLIAM B. BOYD

2006-07 年度国際ロータリー会長

同僚ロータリアンの皆さん

一年ほど前、私はこのページに、ロータリアンについて「自分たちのクラブや地域社会で、問題をそのままにしておいて満足してはいません。私たちがしなければ、と問い続ける人種なのです」と書きました。



昨年、私は、まさしくこのことを自らに問いかけながら、難題に立ち向かう何千というロータリアンにお目にかかる機会を得ました。その独創性や志の大きさに驚かされたプロジェクト、信じられないような発想や計画、洞察力の下に成し遂げられたプロジェクトを見てきましたし、クラブが自分たちの地域社会が直面している問題の本質に取り組むため、さまざまな障壁を克服している姿を目の当たりにしました。そして、それらが温かく、慈愛に満ちた、そして地域特性を知り尽くした手腕によって、――あるいは、しばしばロータリー財団の支援を得ながら成し遂げられたことも知りました。

ニーズを見つけ出し成し遂げる

私が見てきたプロジェクトは、それぞれに特色があり、深い感銘を与えるものばかりでした。しかしながら、最も感銘を受けたのは、資金や能力の不足、または単に見逃されていただけといった理由で、これまでは誰も手がけなかったニーズとの取り組みでした。

ときには、医療設備の不備や水源汚染のように、問題は明らかで、よく認識されているものもあります。中には、年頃になった女の子がトイレの設備がない学校に通っているため、毎月ジレンマに直面しているというような公然と語られないような問題も含まれています。私がこの一年間に知ったことは、水の浄化装置にせよ、血液銀行、HIVの治療、トイレの設備、あるいは識字率向上などの問題にせよ、ロータリアンたちは手がけるべきニーズを見つけ出し、それを成し遂げているということでした。

知恵のある世話好きな人々

最も私の心に残ったプロジェクトは、真のニーズに合致し、暮らしをそっと変えるようなものです。切断手術を受けた人のために低コストの義手を与え、彼らの職場復帰と自立できるように支援したロータリークラブ、より多くの子どもたちが本に接する機会を与えるために図書館を支援した台湾の新竹のロータリークラブ、アフリカの病院の結核病棟で暮らす子どもたちの教育を援助したロータリークラブ、そして、その地域にはなかった自閉症の子どもたちのための学校を建てたロータリークラブなど、単純ではあっても効果的なプロジェクトを実施したロータリークラブのことを、私は決して忘れることはないでしょう。

これらは、これまでとは異なる真の違いを生み出すことができたプロジェクトのほんの一部にすぎません。そこには過大評価や誇張はありません。これらのプロジェクトは、教育を施し、健康を増進し、よりよい未来のために有効な機会をつくることによって、文字通り人々の暮らし向きを変えました。ロータリアンたちは莫大な時間や労力、それに自らの資産を投入して実施したプロジェクトもありました。そこに踏み込み、状況を見極め、必要なことを実行する、知恵があって世話好きな人々がいたからこそ成し遂げられたものもありました。

これからも大きな宿題を……

今年度、世界中のロータリアンの皆さんが、どのように「率先しよう」を実践なさっているかを知ることは大きな楽しみでした。私はこれから先の歳月も、この大きな課題を皆さんとともに取り組み続けていくことを楽しみにしています。ローナと私は、皆さま方のご厚情に感謝しています。今年度は、私たちの暮らしも変えました。